



JFE

インドにおける JSW スチールとの一貫製鉄所合弁事業について

～東西製鉄所に次ぐ第3の一貫製鉄所運営による海外事業収益の拡大～

2025年12月4日

JFEホールディングス株式会社

証券コード：5411



1

本件の概要

2

当社の海外事業戦略とJSWスチールとのこれまでの歩み

3

成長マーケットであるインド市場

4

ブラウンフィールドへの投資機会と
当社の技術力注入によるシナジー創出

5

JFEスチールの目指す姿

東日本・西日本製鉄所に次ぐ、JFE第3の一貫製鉄所をインドにて運営

- 2025年12月、インド JSWスチールと、**一貫製鉄所の合併会社設立 (50:50)**に関して合意
- 2030年までに**1,000 万 t級に拡張できるブラウンフィールド案件**。1,500万t級の拡張ポテンシャル保有
- **インドで最大の鉄鉱石生産地域に自社鉱山を保有**し、コスト競争力が高い

BPSL社概要

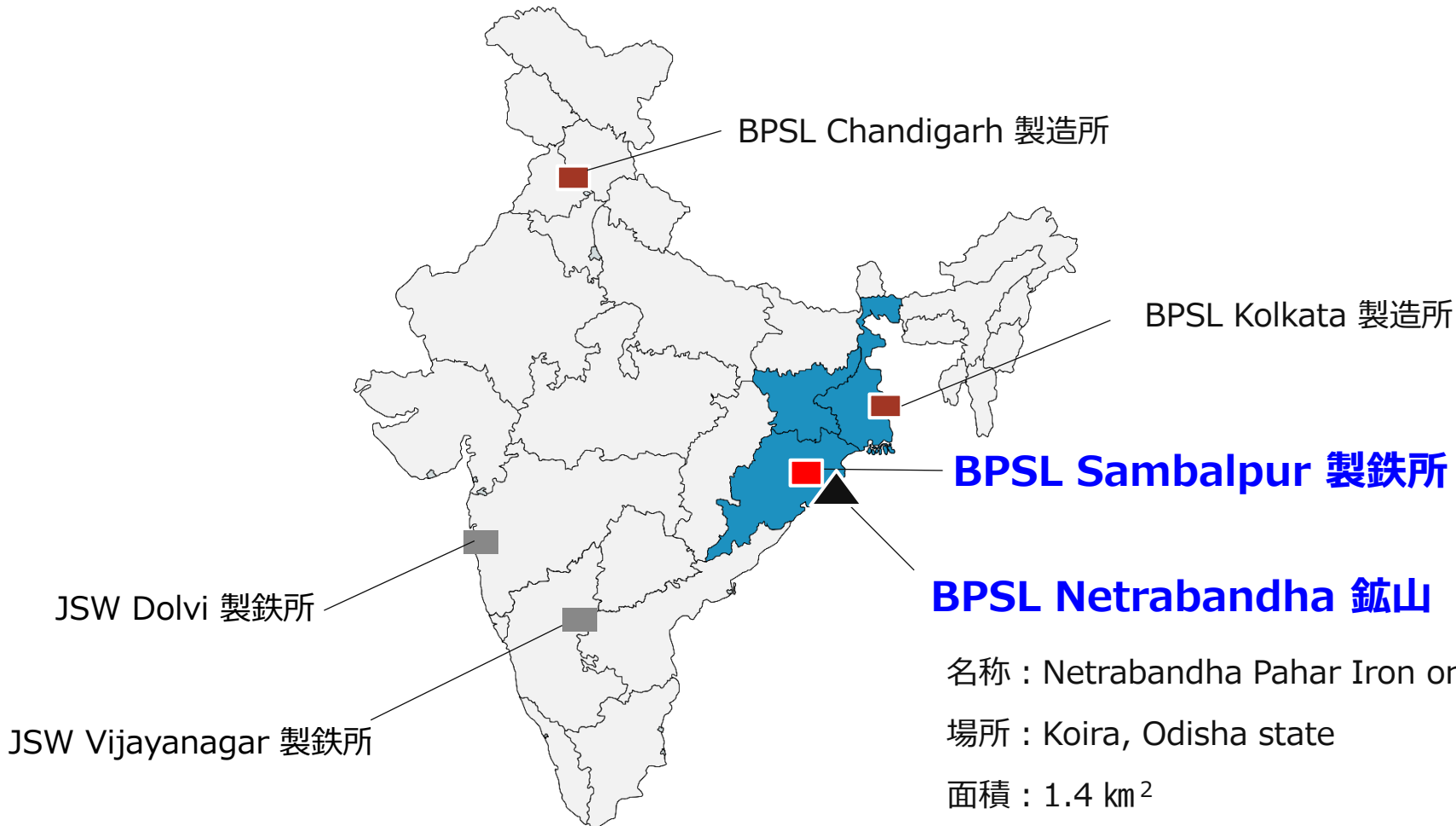
会社名(現行)	Bhushan Power & Steel Limited (BPSL)
製鉄所 所在地	インド オディシャ州
出資額	1,575億INR (約2,700億円)
持分比率	JFE50%、JSW50%
主要生産品目	熱延鋼板、冷延鋼板、棒鋼、線材、鋼管
粗鋼生産能力	450万t/年
主要財務指標 (25年4-9月実績x2)	売上 : 2,032億INR (約3,400億円) EBITDA : 297億INR (約500億円) 税後利益 : 99億INR (約170億円)

BPSL社の歴史

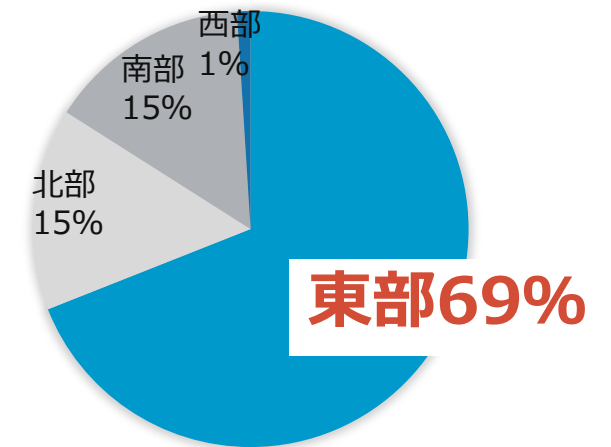
- 1970 Bhushan Singhal グループにより設立
- 2005 オディシャ州での製鉄所操業を開始
- 2017 Punjab National Bankにより強制倒産手続き
JSWスチールによる企業再生プロセス開始
- 2023 粗鋼生産能力を275万t/年から350万t/年に拡大
- 2024 粗鋼生産能力を450万tへ拡大

インドで最大の鉄鉱石生産地域に自社鉱山を保有し、高いコスト競争力を有する

- 恵まれた地質条件（高鉄分の鉱床が浅い地層に分布）
- 製鉄所に近く良好な立地（距離約200km, 鉄道・道路のインフラ充実）



東部地域の鉄鉱石生産：
インド全体の7割と豊富



名称 : Netrabandha Pahar Iron ore Block

場所 : Koirā, Odisha state

面積 : 1.4 km²

- **成長マーケットであるインドにインサイダーとして参入し需要捕捉**

内需 8 % 成長

- **コスト競争力優位**

自社鉱山保有、鉄鉱石の安価調達可能

- **早期拡張余地のあるインド国内随一のブラウンフィールド案件**

既に450万t/年の能力を有し、土地取得済

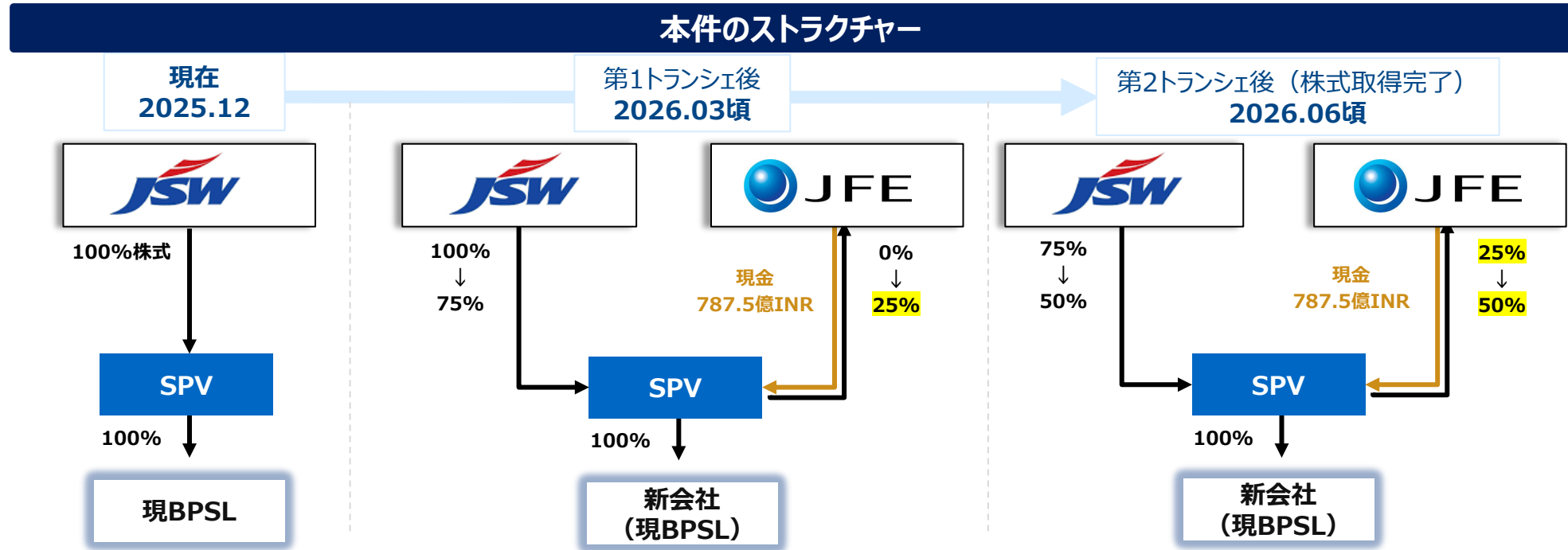
早期立ち上げ、収益を再投資することでオーガニックグロース実現可能

- **当社の技術力を活用、競争力のある高級鋼製造工場を建設可能**

JFEの高度な技術供与による効率性・競争力向上

JSW子会社の50%株式取得について

- 当社は、JSWのインド子会社であるBPSLを保有するSPVの50%株式を、合計1,575億INRで取得することに合意
- 本件の取引は、25%株式取得を2回のランシエに分割して実施の予定



1	会社名(現行)	Bhushan Power & Steel Limited (BPSL)
2	出資額	1,575億INR (約2,700億円)
3	持分比率	当社 (50%)、JSWスチール (50%)
4	支払い方法	➢ 第1ランシエ：2026年3月頃、25%株式取得、787.5億INR ➢ 第2ランシエ：2026年6月頃、25%株式取得、787.5億INR
5	株式取得完了時期	2026年6月 (予定)

- 強靱化した国内製鉄所・製造所で競争優位性の源泉であるCNを含めた革新技術や高付加価値品で稼ぐ力を向上
- 海外成長地域において、優位性のある技術・商品・人材を活かしてトップクラスのパートナーと連携して事業拡大

第8次中期経営計画

● 国内生産体制の再構築

- ・高付加価値品比率の向上（60%）
- ・国内生産体制・事業の再編

● 海外事業拡大

- ・成長地域トップクラスのパートナーとのインサイダー型事業拡大

● グリーン鋼材の開発と普及

- ・超革新技術の開発（GI基金）
- ・革新電気炉^(*)の建設
- ・グリーン鋼材の拡販

経済的
持続性

環境的
社会的
持続性

「JFEビジョン2035」

● グループ事業利益増大 （セグメント利益 7,000 億円）

- ・成長戦略に基づいたスリムで強靱な国内体制
 - 競争優位性の源泉である技術・人材を創出
 - 量から質への転換の深化、各事業の再編と統合
- ・海外成長地域でインサイダー型事業拡大による成長
 - トップクラスのパートナーとの協業、M&A

● CNに向けた技術開発のトップランナー

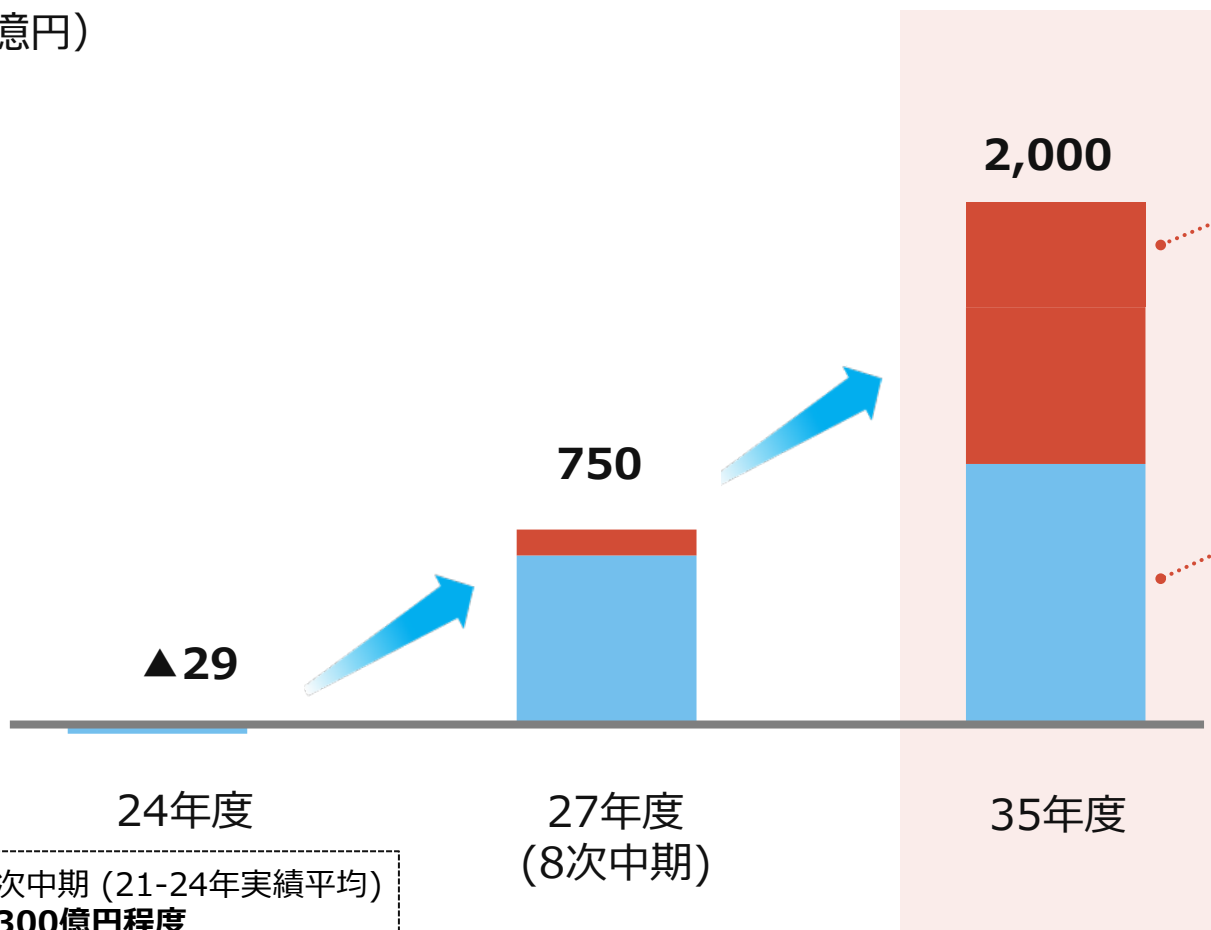
- ・超革新プロセス転換技術の開発完了
- ・地球環境保全に貢献する高い技術力と多様なエコプロダクト群の提供
- ・高品質なグリーン鋼材市場におけるメインプレーヤー

(*) 高品質・高機能鋼材が製造可能な高効率・大型の革新電気炉

- 鉄鋼セグメント利益5,000億円に向けて、**海外事業収益2,000億円を目指す**べく、これまでに実行してきた投資による効果(Organic Growth)に加え、成長分野・地域への積極的な投資により、更なる成長を実現

海外事業収益

(億円)



新規投資 (本件含)

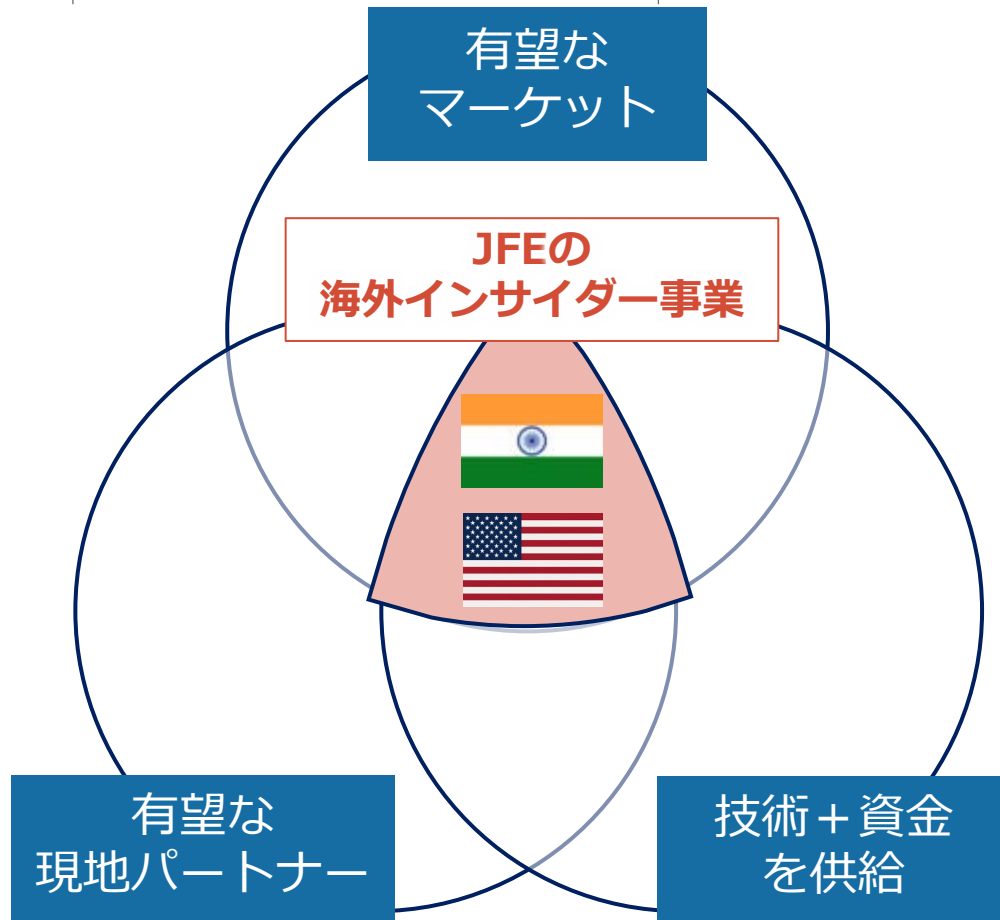
- 成長投資による成長
(8次中期投資枠4,000億円 + α)

既存海外事業の成長 (Organic Growth含)

- インド JSWのOrganic Growth
生産量 24年: 27百万t
31年: 50百万t超へ
- 既事業・投資の収益改善

- 海外戦略の3つの柱と合致する現地パートナーである**JSW(インド)**、**Nucor(北米)**への技術供与・資金拠出を通じて、**インサイダー型事業**を進めてきた。更なる拡大に向け、成長市場における海外鉄鋼需要を捕捉

JFE海外戦略の3つの柱



有望なマーケット

- ① 需要成長するマーケット（人口増、需要構造変化）
- ② 安定収益を確保できる（レッドオーシャンではない）マーケット
- ③ コスト優位性を発揮できるマーケット
（原料・エネルギー立地、需要地立地（物流費）、地政学的条件）

有望な現地パートナー

- ① 信頼できるパートナー：長期にわたる信頼関係
- ② 実力のあるパートナー：現地での経営能力・事業基盤・事業意欲、政治力
- ③ ビジョンを同じくしたパートナー：Win-Winを目指し共に成長、長期志向

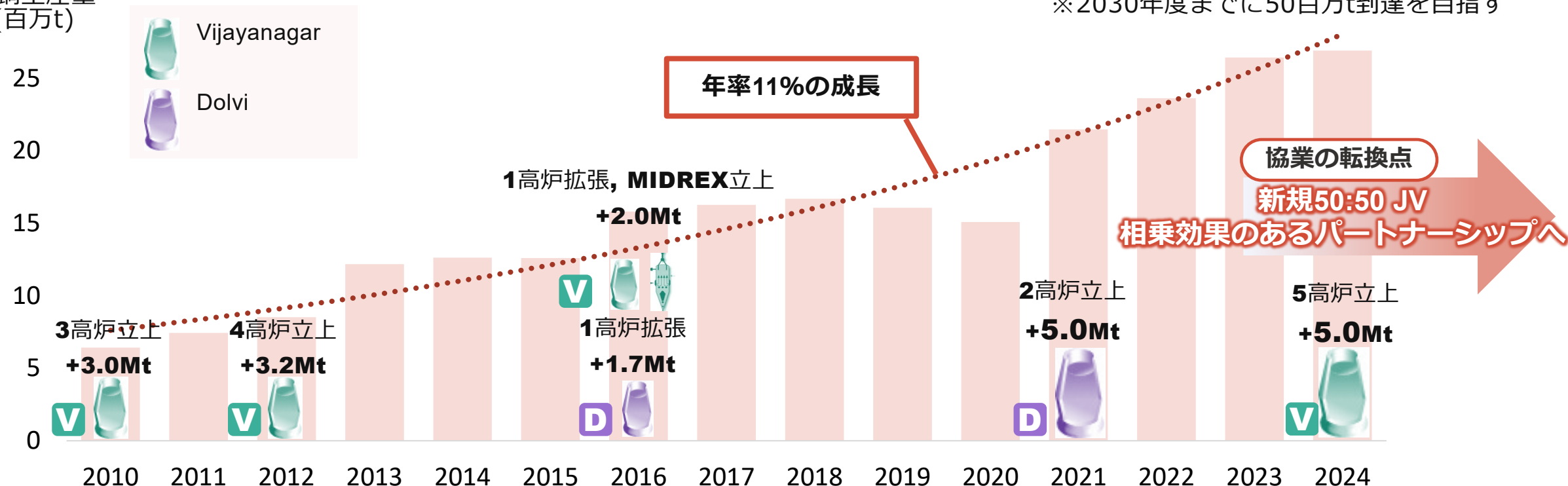
技術+資金を供給

- ① 単なる資金供給ではなく、技術を加える事で成功を加速する
- ② 一次的な技術供与ではなく、継続的に新技術を提供し続ける

JSWの成長 - 共に歩んできたこれまでの成果

- 2010年のJFEからの初期出資以来、オーガニックグロースで成長 (時価総額 年率22%成長)
- 当社の技術的支援が、JSWの粗鋼生産量の年率11%成長に貢献

粗鋼生産量
(百万t)



- ・ J2ES - 電磁鋼板JV
- ・ J2ES Nashik - 共同買収

5百万t規模高炉・製鋼工場への技術支援

自動車用鋼板：技術供与

無方向性電磁鋼板：技術供与

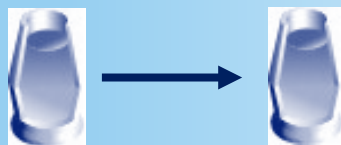
- 1人あたりの鋼材消費量が100kgを超えると、800kgに達するまでの約20年間に急速な消費量の成長が見られる（日本、韓国、中国など）。インドは既に急成長期に入った可能性が高い
- 鉄鋼生産能力拡張には時間がかかるため、早期に建設を開始することが好機を捉える鍵となる

1人あたり
鋼材消費量(kg)

Windows of Opportunity 鉄鋼業における投資機会：15 – 20年

投資フェーズ

回収フェーズ



1,000

800

600

400

200

0

インド

102.6kg (2024)

日本: (1957)
韓国: (1976)
中国: (1993)

高付加価値製品へのシフト

2024

2039

2044

インド

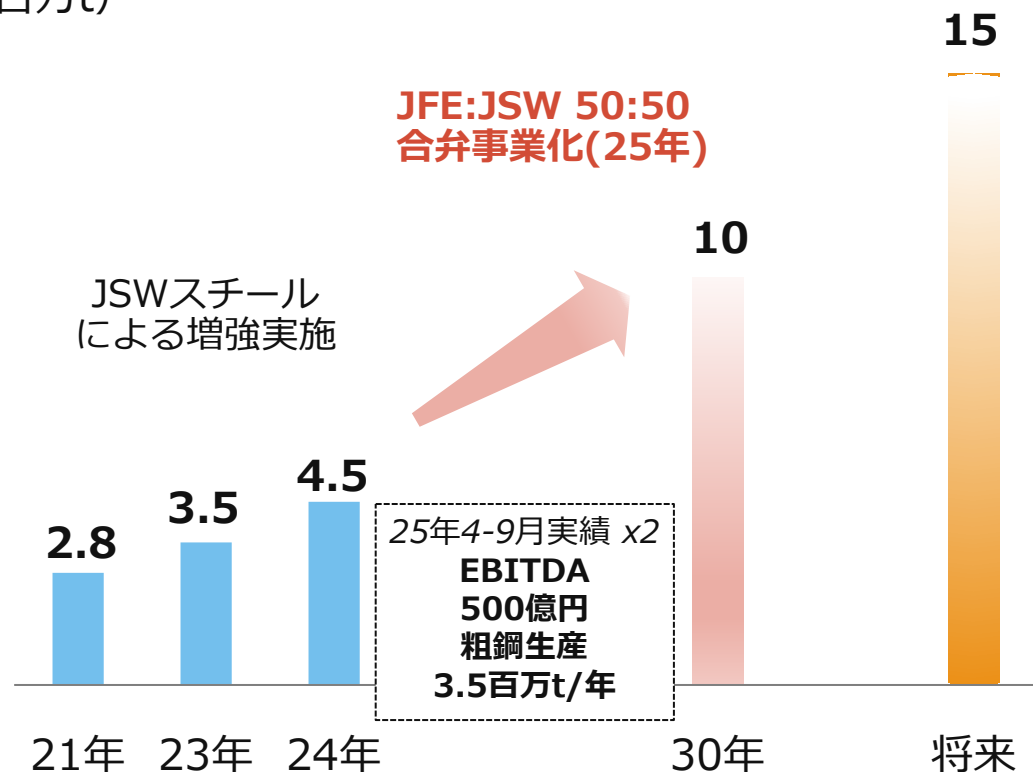
Y-9 Y-8 Y-7 Y-6 Y-5 Y-4 Y-3 Y-2 Y-1 Y0 Y1 Y2 Y3 Y4 Y5 Y6 Y7 Y8 Y9 Y10 Y11 Y12 Y13 Y14 Y15 Y16 Y17 Y18 Y19 Y20 Y21 Y22 Y23 Y24 Y25 Y26 Y27 Y28 Y29 Y30

拡張余地のあるブラウンフィールドへの投資機会。当社の資金・技術力を注入し、シナジー創出

- JSWスチールによる増強により、現状4.5百万t/年の生産能力へ進展
- **2030年を目標に10百万t/年への拡張**を計画。拡張のキーとなる**土地取得済**。将来的に15百万t規模へ拡張構想

粗鋼生産能力

(百万t)

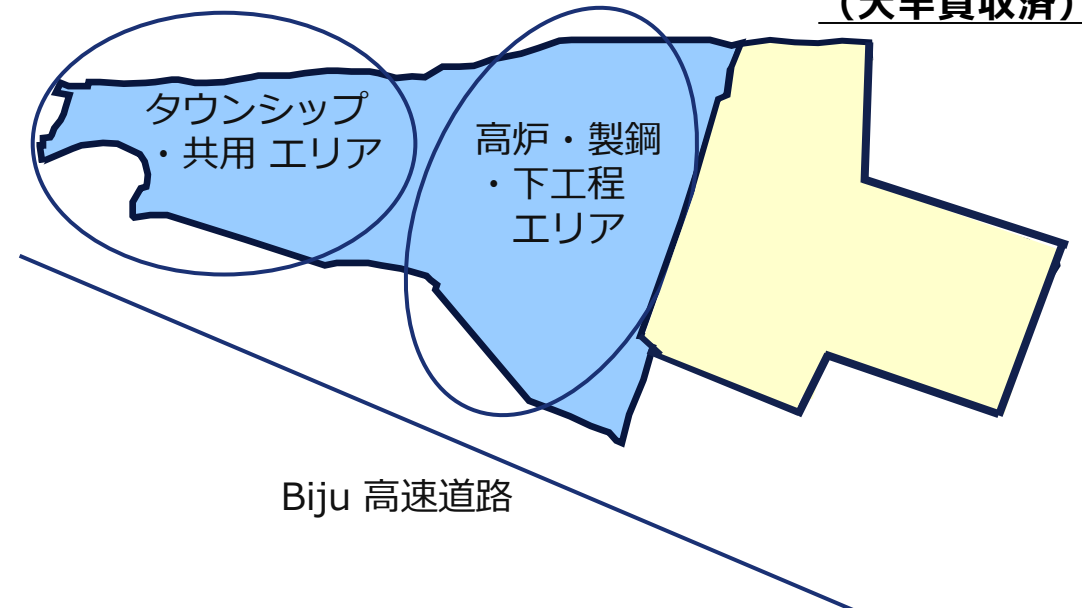


拡張用地

BPSL Sambalpur製鉄所 (Odisha州)

既存スペース
約1,300エーカ

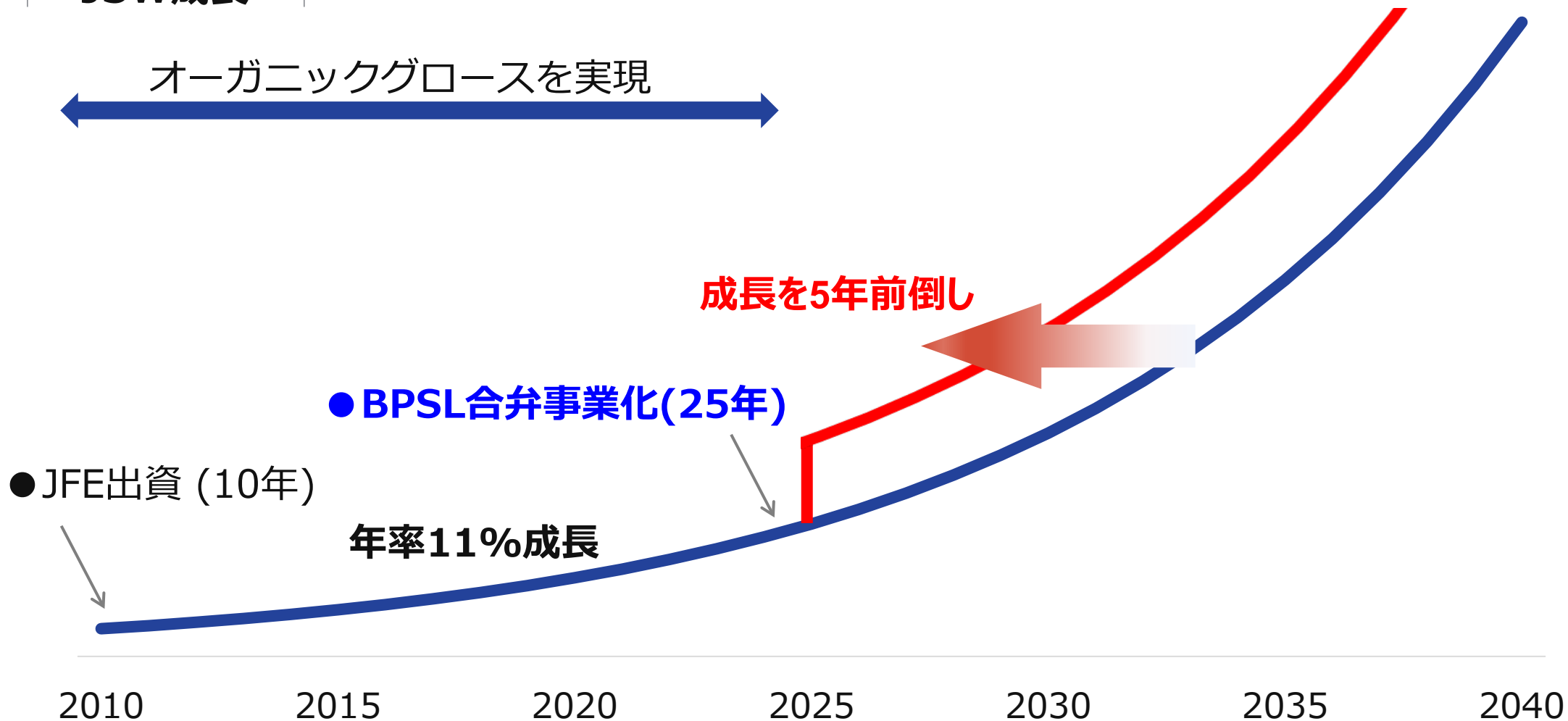
拡張スペース
約700エーカ
(大半買収済)



- BPSL合併事業化により、JSWの他投資余力を創出 ⇒ Win-Winの関係を実現
- JFEの技術供与による高付加価値品の生産を実現

JSW成長

オーガニックグロースを実現



- JFEの技術を投入し、インドで最も先進的、かつ高いコスト競争力を有する生産拠点へと成長
- 国内東西製鉄所に次ぐ、**早期に拡張を実現するJFEの第3の製鉄所**として主体的に運営

将来に向けた戦略的生産拠点配置





本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、提示された予測等は説明会の時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。

従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。

本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

(参考) BPSL (Bhushan Power & Steel Limited) 概要



BPSLの概要

会社名(現行)

Bhushan Power & Steel Limited

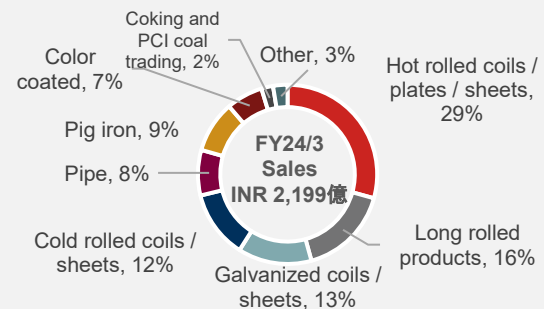
設立

1970年

主要施設

オディシャ州Sambalpur製鉄所:450万t/年
オディシャ州Netrabandha鉱山:80百万t規模の鉄鉱石埋蔵。
許認可取得中
下工程拠点:Chandigarh及びKolkata

主要製品

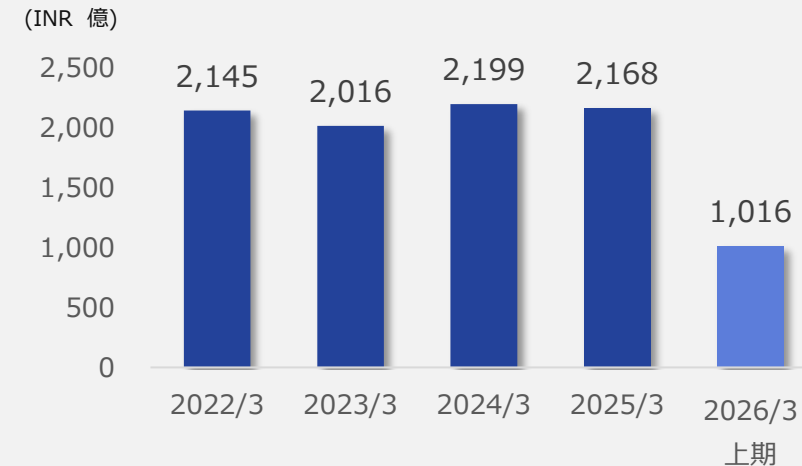


戦略

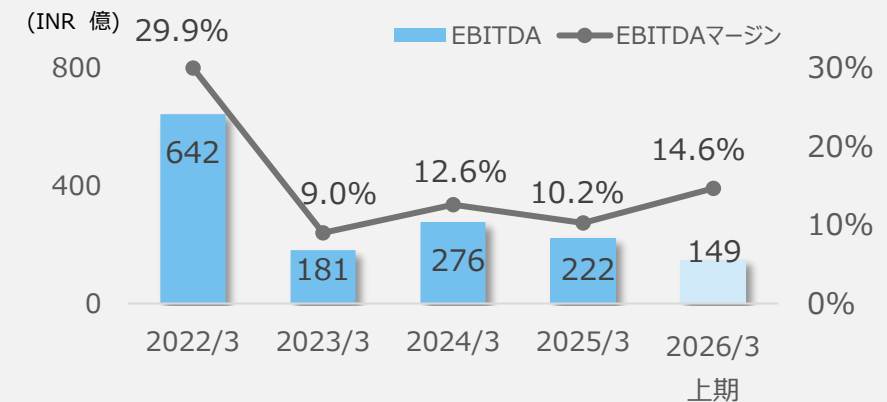
- ・粗鋼能力10百万t/年への拡張計画あり、土地取得済
- ・15百万t/年へ拡大のポテンシャルを保有

業績の推移

売上高



EBITDA



JSWスチールの概要



粗鋼生産能力	35.7百万t/年（2025/3）
主要設備	コークス炉、ペレット工場、焼結工場、高炉（4基）、還元鉄工場、スラブ連铸、熱間圧延工場
主要製品	熱延鋼板、冷延鋼板、溶融亜鉛めっき鋼板、線材、棒鋼 等
当社との関係	戦略的アライアンスパートナー、2009年に戦略的包括提携契約締結、2010年より出資(15%)

高付加価値品

高付加価値
製品割合
50%以上
を維持

粗鋼生産能力

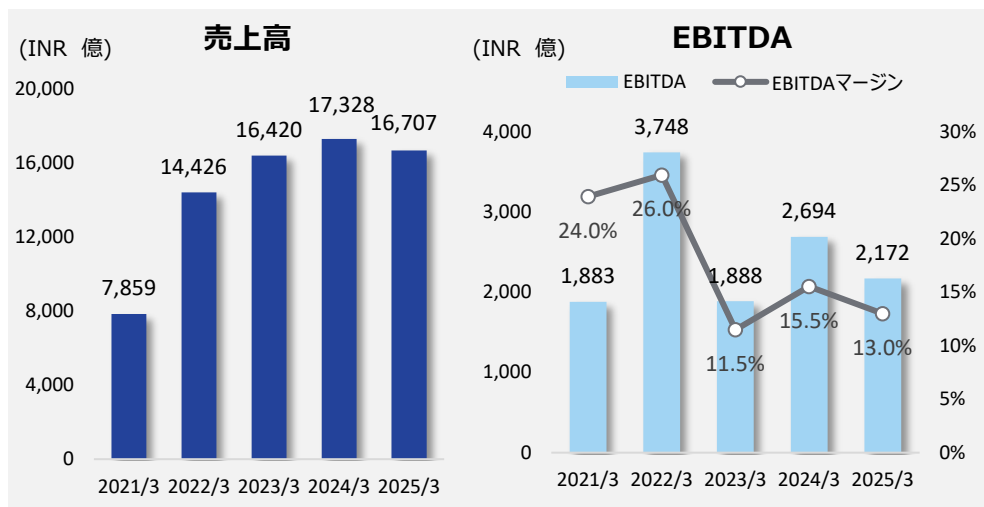
35.7百万t/年

FY30-31までに
51.5百万t/年に
拡張の計画

設備投資計画

3年間で
6,186億INR

財務情報



出典: Company material, Factset

主要拠点

